



トピックス

## 11月より不実施補償を廃止

～企業との連携、成果の普及を加速するため、共有知財の取扱い方針を見直し～

## 【ポイント】

- ・共有知財について、共有者が非独占的に実施する場合に共有者に求めていた補償を廃止
- ・共有知財について、第三者へ実施許諾する際の当事者間の調整を簡素化
- ・以上により、企業との連携を加速し、研究成果を活用したイノベーション創出を促進

## 【概要】

独立行政法人 産業技術総合研究所【理事長 中鉢 良治】(以下「産総研」という)は、共同研究をはじめとした連携制度を通じた産学官連携の推進とその成果の普及によってイノベーション創出を促進するため、共同研究などにより民間企業との間で創出された共有の知的財産権(以下「共有知財」という)の取扱いについて、見直しをすることとしました。この変更は平成26年11月1日以降に締結する共同研究契約、受託研究契約より適用いたします。

主な変更点は、民間企業が産総研との共有知財を非独占的に実施する場合、原則として不実施補償料を請求するという従前の取扱いを廃止する点【表1】と、共有知財について各々の共有者が互いに単独で第三者企業と実施許諾契約を締結できることとする点【表2】です。

これにより、産総研は民間企業との共同研究などをさらに推進するとともに、共同研究相手企業および第三者企業がその共同研究成果の活用を促進することにより、イノベーションの創出が加速されることが期待されます。

なお、民間企業が産総研との共有知財を独占的に実施する場合には、産総研は民間企業に対して独占実施料を請求します。

【表1】 共同研究により創出される共有知財についての不実施補償

共有者の実施態様	旧取扱い	新取扱い
非独占的に自己実施	不実施補償料を請求する(資金提供額が一定額以上または国が推進する研究開発プロジェクトの場合は請求しない)	不実施補償料を請求しない
独占的に自己実施	不実施補償料を請求する	独占実施料を請求する

【表2】 共有知財の第三者企業への実施許諾(共有者をA、Bとする。)

変更する契約項目	旧取扱い	新取扱い
契約当事者	共有者全員(A and B) + 第三者企業	共有者のうち一人(A or B) + 第三者企業
第三者からの実施料	共有者全員(A and B) で分配	契約当事者(A or B) が取得

## 【変更の内容】

今回の変更では、民間企業が産総研との共有知財を非独占的に実施する場合に、不実施補償料を請求しないこととしました。なお、民間企業が産総研との共有知財を独占的に実施する場合には、独占実施料を請求いたします。

また、産総研と民間企業との共有知財を第三者企業に実施許諾する場合には、共有者の一人および第三者企業を契約当事者とすることができることとするとともに、第三者企業からの実施料は契約当事者たる権利者(共有者の一人のみ)が取得できることとしました。

**本制度の運用は、平成26年11月1日から開始しています。**

【詳細はこちらから】

AIST 不実施補償

検索

CLICK!!

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/news/announce/pr20141030.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/news/announce/pr20141030.html)

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-2

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス

## 産総研・新技術セミナー（高知）の開催について

(H26.12.8 高知県工業技術センター)

産総研四国センターでは、四国4県の公設試や産業支援機関の協力の下、産総研の新技術を詳細に紹介することで、地域企業の技術力の向上をはかり、四国の産業・社会発展に資することを目的に「産総研新技術セミナー」を開催しております。今回は高知県工業技術センターの協力のもと、弊所の健康工学研究部門から「哺乳類培養細胞およびマウスを用いた食品成分の機能性評価」及び「海洋深層水と生物生産」の2事例をご紹介します。多数のご参加、お待ちしております。

【日 時】平成26年12月8日(月) 13:30～15:50

【会 場】高知県工業技術センター 2階第1研修室  
(高知県高知市布師田3992-3)

【定 員】50名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

### 【プログラム】

1. 開会挨拶 13:30～13:35

2. 講演① 13:35～14:35

題目：「哺乳類培養細胞およびマウスを用いた食品成分の機能性評価」

講師：産総研 健康工学研究部門 生体機能制御研究グループ長 中島 芳浩

概要：我々のグループでは哺乳類培養細胞やマウスを用い、薬効、毒性あるいは食品成分の機能性等の評価を行っています。機能性評価においては主に炎症反応に着目し、培養細胞を用いたin vitro試験ではマクロファージ由来株化培養細胞のサイトカイン産生への影響、マウスを用いたin vivo評価では病態モデルマウスの改善効果やナチュラルキラーT細胞の活性化等を指標に、対象とする機能性成分の作用を解析しています。本セミナーでは、これまで実施してきた幾つかの機能性成分の解析の実施例について紹介するとともに、細胞の遺伝子発現を光でモニターする細胞アッセイ法についても併せて紹介します。

3. 休憩 14:35～14:50

4. 講演② 14:50～15:50

題目：「海洋深層水と生物生産」

講師：産総研 健康工学研究部門 健康リスク削減技術研究グループ 主任研究員 垣田 浩孝

概要：古代ローマでは外傷、火傷、発疹等の治療に、英国では長期航行中の壊血病予防に、大型海藻を用いていました。この歴史的事実は海藻に健康機能性物質として利用可能な物質が含まれていることを示唆します。講演では紅藻類大型海藻からの硫酸多糖の探索、海洋深層水と生物生産、褐藻類大型海藻由来アルギン酸のゲル物性とその利用について紹介します。また、近年、水圏の高濃度栄養塩が人体に有毒な貝毒等を大量放出する微細藻類の大量発生を引き起こす健康リスク因子として問題視されていますが、大型海藻が水圏の高濃度栄養塩を効率的に低減することを見出しており、この成果についても紹介します。

### 【お問い合わせ先】

高知県工業技術センター資源環境課 川北又は岡崎

TEL:088-846-1111 FAX:088-845-9111 e-mail:151405@ken.pref.kochi.lg.jp



【お申し込みはこちらから】

AIST四国

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20141208shingijyutsuseminar.html>

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-3

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



## 行動観察能力育成セミナーの開催について

(H26.12.10 産総研四国センター)

観察力を高めることで、

**新製品開発の提案に！ 顧客満足度の向上に！ 業務改善に！**

などに活かします。

人間の行動の多くは「無意識」領域で行われていると言われます。そのため、アンケートやインタビューといった従来の「聞く」形の調査手法では、引き出すことのできる生活ニーズや優秀者のスキルには、自ずと限界が生じます。

「行動観察」は、人の無意識の行動を幅広い視点で詳細に観察し、エスノグラフィー(※)や人間工学、心理学など人間に関するアカデミックな知見をもとに解釈することで、気づいていない行動からも、潜在的なニーズやリスク、スキルを抽出することができます。

そして、得られた気づき、洞察に基づくソリューションを導き出し、ビジネスでの利活用につなげる手法です。

(※)行動様式をフィールドワークによって調査・記録する手法

【日 時】平成26年12月10日(水) 13:30~16:00(受付13:00開始)

【会 場】産業技術総合研究所 四国センター 1階 講堂  
(香川県高松市林町2217-14)

【定 員】80名

【講 師】大阪ガス行動観察研究所株式会社 越野 孝史 氏



参加  
無料



### 講師略歴

1958年 福井県生まれ。大学にて経済学を専攻の後、マーケティング会社に入社、東京にて主に定性調査全般に関わり、以来30年近く一貫して企業のマーケティング課題へのソリューション立案に取り組む。取締役などを経て、2006年株式会社エルネット(現：大阪ガス行動観察研究所株式会社)入社。現在、大阪ガス行動観察研究所株式会社 マーケティングソリューション推進部長。

「行動観察力育成講座(入門編)」講師、その他講演多数。

### 【お問い合わせ先】

香川県高松市林町2217-14

独立行政法人 産業技術総合研究所 四国センター

担当：四国産学官連携センター 谷(たに)・安藤(あんどう)

TEL 087-869-3530 E-MAIL [shikoku-event-ml@aist.go.jp](mailto:shikoku-event-ml@aist.go.jp)

**なお、駐車場の数に限りがございますので、相乗り・公共交通機関のご利用にご配慮いただければ幸いです。**

【お申し込みはこちらから】

AIST四国

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20141210inobe.html>

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-4

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



## 産総研・新技術セミナー（松山）の開催について

(H26.12.11 愛媛県庁)

産総研四国センターでは、四国4県の公設試や産業支援機関の協力の下、産総研の新技術を詳細に紹介することで、地域企業の技術力の向上をはかり、四国の産業・社会発展に資することを目的に「産総研新技術セミナー」を開催しております。今回は愛媛県産業技術研究所との共催で、弊所所長の田尾から「循環型社会構築に向けた産総研の環境技術開発」と題した講演を行います。併せて産技連中四国合同環境・エネルギー技術分科会から4つの事例をご紹介します。多数のご参加、お待ちしております。

【日 時】平成26年12月11日(木) 13:00～15:40

【会 場】愛媛県庁 第2別館 5階 第3 会議室  
(愛媛県松山市一番町四丁目4-2)

【定 員】50名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

### 【プログラム】

1. 開会挨拶 13:00～13:10

2. 講演① 13:10～14:30

題目：「循環型社会構築に向けた産総研の環境技術開発」

講師：産総研 四国センター 所長 田尾 博明

概要：産総研では、グリーン・イノベーションを目指して、温室効果ガスの排出量削減のための再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー、資源の確保と有効利用、産業の環境負荷低減、様々な新技術やリスクの評価、安全の管理等を目指した技術の開発を進めています。ここでは、レアメタル等の金属資源のリサイクル技術、排水の再生利用による環境負荷低減と水資源確保に関する技術等についてご紹介します。

3. 休憩 14:30～14:40

4. 研究発表会 14:40～15:40

(1)「アコヤ廃貝殻を利用したインクジェット用紙の開発」

愛媛県産業技術研究所 技術開発部 主任研究員 福垣内 暁 氏

(2)「植物工場用養液浄化装置の開発」

島根県産業技術センター 環境技術科 科長 田島 政弘 氏

(3)「木質バイオマス粉碎物の試作と製造実証」

岡山県工業技術センター 研究開発部 専門研究員 川端 浩二 氏

(4)「廃石膏を利用した消化脱水ろ液からのリン回収に関する研究」

広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター

材料技術研究部 副主任研究員 倉本 恵治 氏

### 【お問い合わせ先】

〒790-1101 愛媛県松山市久米窪田町487-2

愛媛県産業技術研究所 技術開発部 亀岡

TEL:089-976-7612 FAX:089-976-7313 e-mail:kameoka-kei@pref.ehime.jp



参加  
無料

【お申し込みはこちらから】

AIST四国

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20141211shingijyutsuseminar.html>

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-5

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

トピックス

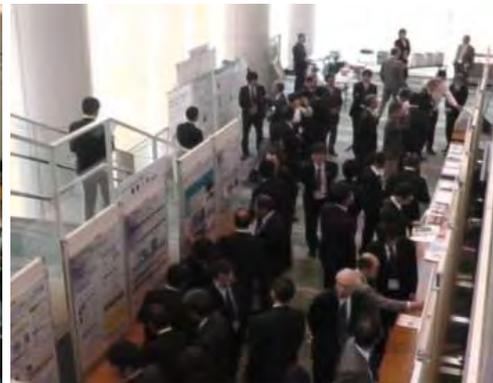
## 産総研本格研究ワークショップin四国を開催しました。 ご参加、誠にありがとうございました。

平成26年11月17日(月)、香川県高松市のサンポートホール高松第2小ホールにおいて「産総研本格研究ワークショップin四国」を開催しました。

冒頭、理事長が開会挨拶を行いました。四国地域の現状を鑑み、新たな病気予防・健康管理産業の創出及び食産物の健康増進機能を活用した地域産業の活性化を目指し「あらたな健康サービス・健康ものづくり産業を目指して」をテーマとして企画したこと、今年は趣旨を替え、地域の皆様の産総研に対する意見、産総研へ何を期待するのかをお聞きする場としたこと、この11月より企業との連携及び成果の普及を加速するため、共有知財の取扱いを見直したことなどを述べました。最後に、産業界への橋渡し機能の重点化に向け、第四期中期計画が始まる来年4月からロケットスタートを切り、そだ産総研があった、産総研があつて良かった、といってもらえるよう改善していく旨を宣言しました。

講演では、産業界からは採血不要の血糖モニタリングシステムや、近所のドラッグストア等を利用して誰でも気軽に受診できる健康セルフチェックサービスなどの事例紹介、大学からは四国の食産物の健康増進機能に着目した取組みの紹介、産総研からは生活習慣病の予知診断のためのバイオマーカーや診断デバイスの研究開発事例などを紹介しました。パネルディスカッションにおいて、健康サービス・健康ものづくり産業の創出には産総研全体の強力な支援とリーダーシップが必要とのご意見をいただきました。

企業他より175名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、またポスター出展等にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



### 本格研究WS・今後のスケジュール

- 産総研本格研究ワークショップ in 中部(中部センター)  
テーマ：ものづくりを生み、育む ～ものづくりDNAのさらなる発展～  
開催日時：平成26年12月15日(月)13:30～17:30  
開催場所：メルパルク名古屋 2階 瑞雲の間
- 産総研本格研究ワークショップ in 沖縄(九州センター)  
テーマ：ゲノム技術がリードする沖縄発健康イノベーション(仮)  
開催日時：平成27年1月19日(月)13:00～17:20(予定)  
開催場所：パシフィックホテル沖縄
- 産総研本格研究ワークショップ in おかやま(中国センター)  
テーマ：地域へつなぐ産総研技術(仮)  
開催日時：平成27年2月24日(火)13:00～17:00(予定)  
開催場所：ホテルグランヴィア岡山 4階 フェニックス

本WSで使用した講演者資料等の冊子を先着順にて送付致します。(50部程度)  
ご希望の方は、四国産学官連携センターまで、  
【shikoku-mail-ml@aist.go.jp】  
氏名・送付先等を明記の上、お申し込みください。後日、郵送にて送付させていただきます。

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-6

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス

## 四国センターからポスター出展いたします

(九州・沖縄 産業技術オープンデー/池田泉州銀行 ビジネスエンカレッジフェア2014)

12月3日、サンメッセ鳥栖において、平成26年度九州・沖縄 産業技術オープンデーが開催されます。公設試および産総研の最新技術情報を提供し情報交換する交流の場とすることを目的に開催されるもので、四国センターからは以下の2テーマをポスター出展する予定です。

### ◆紙・フィルム・テープで作る医療診断用チップ

健康工学研究部門 副研究部門長 兼 バイオデバイス研究グループ長 大家 利彦

### ◆サング苗の陸上生産技術

健康工学研究部門 健康リスク削減技術研究グループ 主任研究員 垣田 浩孝

【日 時】 平成26年12月3日(水) 10:00 ~ 17:30 (受付時間 9:30~16:00)

【会 場】 サンメッセ鳥栖、独立行政法人産業技術総合研究所九州センター

また、12月9日~10日の2日間、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)において、池田泉州銀行主催のビジネスエンカレッジフェア2014が開催されます。地域力を高めて経済活性化へとつなげるべく、産学官の出会いの場を設け、多面的なビジネスチャンスを生み出すことを目的に開催されるもので、四国センターからは以下の3テーマをポスター出展する予定です。

### ◆光学顕微鏡下のマイクロ微粒子および細胞の高精度自動操作技術

健康工学研究部門 生体ナノ計測研究グループ 主任研究員 田中 芳夫

### ◆ユズ皮ペーストの炎症誘発細胞・マウスにおける効果

健康工学研究部門 生体機能制御研究グループ 主任研究員 安部 博子

### ◆健康セルフチェック用チップ

~マルチマーカー用プラスチックチップとローコスト紙・フィルム・テープ~

健康工学研究部門 副研究部門長 兼 バイオデバイス研究グループ長 大家 利彦

【日 時】 平成26年12月9日(火)、10日(水) 10:00~17:00 (10日は16:00まで)

【会 場】 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 3階、12階(大阪市北区中之島5-3-51)

【出展業樹】 特定ものづくり基盤技術11分野ごとに分類

- ①情報処理 ②精密加工 ③製造環境 ④接合・実装 ⑤立体造形 ⑥表面処理  
⑦機械制御 ⑧複合・新機能材料 ⑨材料製造プロセス ⑩バイオ ⑪測定計測

【詳細はこちらから】

九州沖縄産業技術オープンデー

検索

CLICK!!

【詳細はこちらから】

ビジネスエンカレッジ

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/kyushu/ci/event/2014fy/1203/index.html>

<http://www.sihd-bk.jp/news/businessfair/index.html>

2014年11月号  
2014.11.21  
NO.120-7

# AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

他機関の情報

## ヘルスケアイノベーションフォーラム 第8回総会・第20回事例研究部会・第16回治験IT化部会

(主催：ヘルスケアイノベーションフォーラム (HCIF) )

【日時】 平成26年11月28日(金) 13:00～17:30

【会場】 高松サポート合同庁舎 アイホール

- 「かがわ医療情報ネットワーク「K-MIX+」について」  
(香川県健康福祉部医務国保課 課長補佐 井下 秀樹氏) など事例研究の紹介、多数。

HCIF

検索

CLICK!!

<http://healthcare-innovation-forum.jp/>

他機関の情報

## 中四国環境ビジネスネット(B-net)フォーラム2014

(主催：岡山県、公益財団法人岡山県産業振興財団)

【日時】 平成26年11月28日(金) 13:00～17:00

【会場】 メルパルクOKAYAMA 1番 泰平 (岡山市北区桑田町1-13)

- 中四国地域を中心とする企業・研究機関による未利用資源利活用に関する事例紹介など

岡山 B-net

検索

CLICK!!

<http://healthcare-innovation-forum.jp/>

出版物紹介

## 産総研TODAY 11月号

産総研で行われている研究開発を、研究者の言葉でお届けします。また産総研の経営情報やいろいろなニュースを交えて、様々な角度から産総研を紹介する月間広報誌です。11月号は「ロボット革命を駆動する産総研のテクノロジー」と題し、ロボット技術の産業界への橋渡しを進める産総研の取組みをご紹介します。



AIST Today

検索

CLICK!!

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/aistinfo/aist\\_today/at\\_research\\_2014.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/at_research_2014.html)